レジメン名　：　アービタックス単独（内服薬と併用）

疾患名　：　大腸がん（RAS野生型）

投与間隔（1コース期間）　：

総コース数　：　PDになるまで

特記事項　：　RAS野生型

	投与順序	レジメン内容（医薬品名）	投与量	単位（mg/㎡,V等）	投与方法（手技）	投与時間（速度等）	投与日（Day1等）	備考（内服薬の用法等）
Rp.	1	生理食塩液　100mL	1	本	点滴静注		D1	ルート確保用
		生理食塩液　100mL	1	本				
		デキサート　6.6mg	1	瓶				
	2	ポララミン注　5mg	2	本	点滴静注	30分	D1	
		アービタックス	400	mg/㎡				アービタックスを入れる分生食を抜いて混注し、全量250mLにする 投与終了後1時間は経過観察
	3	生理食塩液　250mL	1	袋	点滴静注	120分	D1（初回）	
	4	生理食塩液　100mL	1	本	点滴静注	60分	D1	
		アービタックス	250	mg/㎡				アービタックスをいれる分の生食を抜いて混注し、全量250mLにする 投与終了後1時間は経過観察
	3'	生理食塩液　250mL	1	袋	点滴静注	60分	D1（2回目以降）	

減量基準

減量規定（副作用名等）	減量条件（検査値等）	抗癌剤名	減量割合等（減量後の割合又は投与量）

参考文献

・Jonker DJ, et al. Cetuximab for the treatment of colorectal cancer. N Engl J Med. 2007; 357; 2040-8

・Karapetis CS, et al. K-ras mutations and benefit from cetuximab in advanced colorectal cancer. N Engl J Med 2008; 359; 1757-65